

特集

# 新しい佐世保市がスタート

歴史と文化が薫る伝統のまち「江迎」、豊かな自然と共存するまち「鹿町」。3月31日、本市は両町と合併し、26万1962人の新しい佐世保市が誕生しました。市の面積が県内で二番目になり、新たに両町の特産品や文化財などの魅力が加わった新生佐世保。今回は本市のこれまでの合併の歩みや、新しく仲間入りした両地域の魅力などを紹介します。

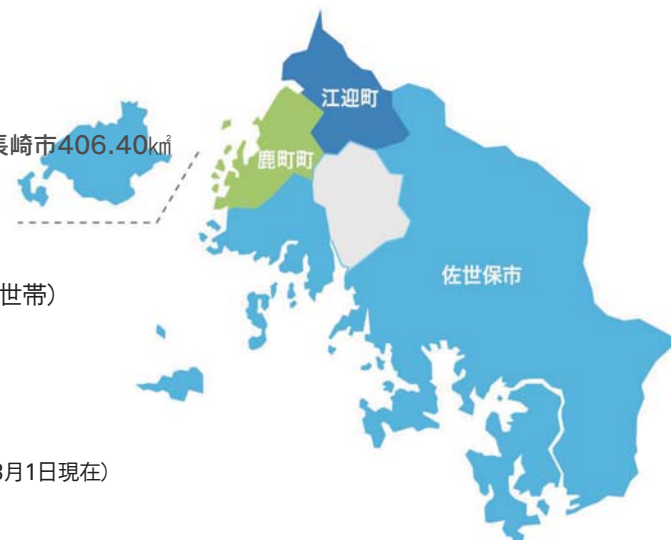
## 本市の合併の歩み

- 明治11年11月 郡制が敷かれ、人口4千人弱の東彼杵郡佐世保村が誕生（村域は現在の、東は烏帽子岳から西は赤崎・庵浦町まで、北は横尾町から南は佐世保駅近くまで）
- 19年5月 旧海軍鎮守府・軍港設置が決定
- 22年4月 行政区域が郡制から市町村制へ
- 35年3月 佐世保村の一部（現在の横尾町・桜木町・田代町付近）が分村し、佐世保村が誕生
- 4月 全国で54番目に市制施行、谷郷町の村役場を仮市庁舎とする。翌年、現在地・八幡町に移転（人口4万5千人、面積17km<sup>2</sup>）
- 37年3月 佐世保村庵浦免の一部を山口村（のちの相浦町）に分譲
- 4月 日宇村の一部（現在の福石町付近）を編入
- 昭和2年4月 佐世村、日宇村を編入（人口13万3千人、面積52km<sup>2</sup>）
- 13年4月 相浦町を編入（人口19万人、面積87km<sup>2</sup>）
- 17年5月 早岐町、大野町、中里村、皆瀬村を編入（人口26万6千人、面積139km<sup>2</sup>）
- 28～36年 町村合併促進法等が施行され、「昭和の大合併」起こる
- 29年4月 柚木村、黒島村を編入（人口24万2千人、面積172km<sup>2</sup>）
- 30年4月 折尾瀬村（現在の三川内地区）、江上村、崎針尾村を編入（人口25万4千人、面積233km<sup>2</sup>）
- 33年8月 宮村を編入（人口26万4千人、面積249km<sup>2</sup>）
- 平成11～18年 市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年制定）が改正され、「平成の大合併」起こる
- 14年4月 市制施行100周年
- 17年4月 吉井町、世知原町を編入（人口25万1千人、面積307km<sup>2</sup>）
- 18年3月 宇久町、小佐々町を編入（人口25万9千人、面積363km<sup>2</sup>）
- 22年3月 江迎町、鹿町町を編入

## 合併後の佐世保市データ

- 人口規模は従来どおり県内2番目。  
面積は県内4番目から2番目の広さとなりました！  
対馬市708.84km<sup>2</sup>、佐世保市426.35km<sup>2</sup>、五島市420.81km<sup>2</sup>、長崎市406.40km<sup>2</sup>
- 人口 261,962人（うち江迎5,786人、鹿町5,031人）  
男性122,827人 女性139,135人
  - 世帯数 105,903世帯（うち江迎2,183世帯、鹿町1,869世帯）
  - 面積 426.35km<sup>2</sup>（うち江迎32.07km<sup>2</sup>、鹿町30.24km<sup>2</sup>）
  - 就業人口 123,248人（うち江迎2,730人、鹿町2,488人）

【参考資料】  
①「人口」「世帯数」平成17年国勢調査に基づいた推計人口（平成22年3月1日現在）  
②「面積」全国都道府県市区町村別面積調（平成21年10月1日現在）  
③「就業人口」平成17年国勢調査



## 江迎

歴史と文化が薫る伝統のまち

江迎地域は、北松浦半島の中央部に位置し、北は松浦市、東は佐世保市、南は佐々町、西は平戸市・鹿町地域に接する県北部の交通・流通の拠点地域で、公共職業安定所など国・県の出先機関も数多く設置されています。

古くは平戸藩の参勤交代の宿場町として栄えた歴史があり、現在も平戸藩主の専用宿舎として使用されていた本陣屋敷（県指定文化財）が残っています。昭和になると大規模な石炭開発により急速に発展。昭和15年に町制を施行し、30年には人口1万8000人を超えました。しかし30年代以降、石炭から石油へのエネルギー革命により、4年にはすべての炭鉱が閉山。以後、旧町では石炭産業に変わる産業の育成、企業立地に力を注いできました。

また江迎と言えば「祭り」です。灯笼タワーで知られる「千灯笼まつり」（8月23、24日開催）は県北を代表する祭りとして多くの人でにぎわい、同まつりのメインイベント「水かけ地藏まつり」は無病息災を祈願する伝統行事として約500年の歴史を誇ります。ほかにも伝統ある祭りが数多く残っており、近年では町おこしの一環として、飾り玉でまちを彩る「肥前江迎繭玉まつり」が3月3日から4月上旬にかけて行われています。

- ① 平戸藩主が宿泊した本陣屋敷
- ② 本陣屋敷の御成門
- ③ 山の文字が読み取れる御成門の瓦葺
- ④ 千灯笼まつりの灯笼タワーと花火

